

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374000384
事業所名	グループホーム好日庵

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域で生きることの意味を考えながら、地域の中でできることを模索している。地域の祭りや清掃活動、散歩や買い物等、外出を通して入居者が地域の方と交流し関係を深めている。民生委員と協力して地域との連携や活性化を目指し、交流会の開催や認知症の理解や啓発活動にも積極的に取り組んでいる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2カ月に1回行い、区長、民生委員、地域包括支援センター職員、地域住民、保育園園長、駐在所員、家族、入居者など多様なメンバーが参加している。ホームの活動状況の報告のほかに、今年度は地域との関わりについて防災訓練や地域交流について話し合ってきた。メンバーからは積極的な発言があり、有意義な会議となっている。地域交流会である「食べまい会」は地域の方からも好評であった。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域と共に認知症ケアを支えていきたいとの考えから、市に企画書を提出した。企画書は採用され、市の認知症予防教室に取り入れられ、介護劇と講演が実現した。介護劇では地域のグループホームと協力して行った。講演では参加者と一緒に考え話し合うことを中心とし、「分かりやすく楽しく参加できた」と参加者に好評だった。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年3回家族会を開催している。敬老会では家族と一緒に料理を作り皆で楽しんだ。家族から入居者に手紙のプレゼントもあり喜ばれた。家族会や運営推進会議、訪問時等に家族の意見や要望を聞いて話し合い、共に入居者を支えている。入居者の希望である一泊旅行を実現するために家族にも協力いただき、一緒に参加してもらうことができ、互いにより思い出となった。家族アンケートの結果からホームと家族との良好な関係がうかがえ、職員の対応についてやケアについても高い評価を得ている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>（例示）</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>（例示）</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>（例示）</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>（例示）</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。